

「第 2 期関西観光・文化振興計画」最終案における主な変更点

ページ数	変更後の案文	中間案時点の案文
計画 タイトル	第 2 期関西観光・文化振興計画 【計画期間：令和 4 年度～令和 8 年度】 最終案	新・関西観光・文化振興計画（仮称）
4 ページ	II 関西の観光・文化をとりまく現状と課題 1 現状（2）文化資源の集積と多様化 また近年は、このような豊かな伝統文化が根付いた土壌から、 <u>マンガ、アニメ、ゲーム等の新しいコンテンツ文化が生まれ、アニメの聖地とされる地域・エリアが数多く生まれ、関連事業所等の立地等も進んでいる。</u>	また近年は、このような豊かな伝統文化が根付いた土壌から、 <u>アニメの聖地とされる地域・エリアが数多く生まれ、関連事業所等の立地も進むなど、新しいコンテンツ文化が育まれている。</u>
7 ページ	II 関西の観光・文化をとりまく現状と課題 1 現状（4）「大阪・関西万博」等をはじめとする国際イベントの開催等 令和 4（2022）年には、 <u>アジア初かつ初めての広域開催となる「ワールドマスタースゲームズ 2021 関西」の開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により再延期が決定された。</u>	令和 4（2022）年は、 <u>アジア初かつ初めての広域開催となる「ワールドマスタースゲームズ 2021 関西」の開催が予定されている。</u>
14 ページ	IV 将来像実現のための戦略 <u>持続性の高い観光の推進など「持続可能な開発目標（SDGs）の達成」に貢献する視点を採り入れるとともに、（以下省略）</u>	<u>持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する視点を採り入れるとともに、（以下省略）</u>
15 ページ	IV 将来像実現のための戦略 戦略 1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進	

	<p>(3)「歴史・伝統・文化」等による観光の推進</p> <p>取組項目を、「①地域資源の活用に関する取組」と「②「広域ルート」など広域周遊に関する取組」として小項目で区分け</p>	(取組項目を小項目で区分け)
15 ページ	<p>IV 将来像実現のための戦略</p> <p>戦略1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進</p> <p>(3)「歴史・伝統・文化」等による観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西の多種多様な資源を共通のテーマで結び、各地を巡る「テーマ別観光」を推進するとともに、同じテーマを持つ地域間による勉強会の開催など連携を進める。 <p>(共通テーマ例)</p> <p><u>「マンガ・アニメ文化」を追加</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> 関西の多種多様な資源を共通のテーマで結び、各地を巡る「テーマ別観光」を推進するとともに、同じテーマを持つ地域間による勉強会の開催など連携を進める。 <p>(共通テーマ例)</p> <p>(省略)</p>
16 ページ	<p>(3)「歴史・伝統・文化」等による観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車やモーターサイクル等多様な交通手段によって、旅の移動手段も楽しむ周遊観光を促進するための情報発信を行う。 	(取組を追加)
19 ページ	<p>戦略6 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進</p> <p>「大阪・関西万博」の開催に向け、関西広域の周遊を促進できるよう環境整備に努める。併せて、関西広域連合が設置するパビリオンを観光・文化のゲートウェイとし、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を通じて関西全域と万博とが結ばれるよう、テーマを体感できる関西各地の歴史、伝統、自然との共生に根付いた文化や観光の魅力を紹介し、関西広域の周遊を促進する。</p> <p>また、万博での取組を一過性のものとせず、ハード・ソフト両面にわたる多面的な取組により創出される有形・無形の「レガシー」を活用し、万博後も持続性の高い観光の推進に努める。</p>	<p>(戦略を追加)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>戦略6の文案は事務局案 1/17 策定委員会で議論予定</p> </div>

	<p>(1)「大阪・関西万博」に向けた環境整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大阪・関西万博」に訪れる方々に関西各地への周遊を促すため、スマートフォンアプリや万博開催前に設置される関西広域連合のwebパビリオン等を活用し、国内外に向け、文化をはじめとする多様な関西の魅力発信を行う。 「関西文化.com」や「関西祭.com」等をリニューアルし、関西の文化施設や地域の祭り、文化財VRコンテンツ等の情報をライブラリー化し、国内外に発信する。(再掲) 「大阪・関西万博」に向け、交通事業者による空港・駅・バスターミナルなど交通アクセスの利便性の向上や広域的なMaaSの推進に関する取組に協力する。(再掲) 「大阪・関西万博」の開催時には世界中から外国人が関西を訪れることを想定し、ハラール、ベジタリアン、ヴィーガンなど多様な食習慣を持つ外国人観光客等の受入環境整備を進めるとともに、礼拝場所の情報提供や観光案内標識等の多言語対応、ピクトグラムや地図の活用など、外国人観光客等にわかりやすい環境整備を進める。(再掲) 通訳案内士等について、更なるスキルアップに向けた研修を実施するとともに、文化など多様な観光資源に関する情報を提供する。(再掲) 	<p>(戦略を追加)</p>
	<p>(2)「大阪・関西万博」参加者等に対する広域周遊の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西広域連合の関西パビリオン(仮称)において、「大阪・関西万博」のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を体感できる関西各地の歴史、自然との共生に根付いた関西の文化や観光の魅力を紹介 	<p>(戦略を追加)</p>

	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大阪・関西万博」の期間中に、MICE や祭り、文化財の特別公開、アーティスト・イン・レジデンスなど多様なイベント等の関西各地での実施を促進する。 関西に立地する、国等の公的施設、大学、民間企業等のミュージアムなどの文化施設等と連携した「関西文化の日」の充実、多言語による情報発信を行うほか、関西文化パスポートの発行を検討する。(再掲) 	
19 ページ	<p>(3) 「大阪・関西万博」のレガシーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大阪・関西万博」の開催に向けて整備される多様な交通インフラや周遊アプリなどを活用し、更なる関西広域の周遊を促進することで、関西各地の地域活性化を図る。 「大阪・関西万博」開催中に関西を訪問した海外メディアとネットワークを構築し、効果的な情報発信を行う。 「大阪・関西万博」の開催後に予定されているワールドマスターズゲームズの参加者を、万博に向けて整備された広域周遊環境を活用し、関西各地への誘客につなげる。 	(戦略を追加)
20 ページ	<p>戦略7 推進体制の確立・強化 (中略)</p> <p>観光分野においては、「大阪・関西万博」の開催を見据えて、関西観光本部が中心となり、官民が広域観光の目標を共有して連携する「ONE 関西」で、関西広域の国際観光を推進することとし、</p>	<p>戦略6 推進体制の確立・強化 (中略)</p> <p>観光分野においては、大阪・関西万博の開催を見据えて、関西観光本部が中心となり、官民が連携して「ONE 関西」で関西広域の国際観光を推進することとし、</p>

21 ページ	<p>インバウンド回復までの緊急対応</p> <p>インバウンド観光が復活するまでは、構成府縣市や関西の交通機関等とも連携し、国内観光の需要喚起に向けた情報発信などを実施する。</p> <p>特に、日本で暮らす外国人は海外との架け橋となることから、在日外国人への情報提供をはじめ、その視点や影響力を活用した取組を推進する。</p> <p>また、インバウンド観光客の受入れの再開時には、感染対策などの情報を発信するほか、広域周遊の特典や割引などのキャンペーン事業の実施など「ONE 関西」で総力をあげて取り組む。</p>	<p>(取組の記載位置を 14 ページから 21 ページに変更し、文言を整理)</p> <p>インバウンド再開までの取組</p> <p>インバウンド観光が復活するまでは、観光インフラを守るためにも、構成府縣市や関西の交通機関等とも連携し、国内の観光需要喚起に向けた情報発信などを実施する。</p> <p>特に、日本で暮らす外国人に対する情報提供をはじめ、在日外国人の視点や影響力を活用した取組を推進する。</p> <p>また、インバウンド観光受入の再開の際には、各地で実施している感染対策などの情報も発信するほか、関西が一丸となってインセンティブ事業を実施するなど、総力をあげて取り組む。</p>
--------	--	---